



あと一步の向上に向けた取組

函館市立深堀小学校

生活習慣・学習習慣の形成 基礎的・基本的な知識・技能の習得 望ましい学習態度の育成 学校組織・指導体制の改善

1 学力向上の具体的な方策

- 重点教育目標「学び合う子」の具現化を図るために、全教職員が共通認識に立ち、学校組織として「学力向上」の取り組みを進める。
- 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と思考力・判断力・表現力を高める学習活動の工夫・改善を図る。

2 取組の概要

1 ふかぼり版「家庭学習の手引き」の配付

- ・本校としての家庭学習への取り組み方を示した「家庭学習の手引き」を作成、配付し、家庭の協力を呼びかけ学校として家庭学習の取り組みを進めている。

2 長期休業中の「学習サポート教室」の開催

- ・夏は3日間、冬は2日間開催した。参加児童は各自の課題に取り組むとともに、高学年児童は「学習サポーター」として教職員と一緒に学習を支援している。



3 各教室への「学習常規」の掲示

- ・発達段階に応じた学習時の望ましい態度や姿勢について示した「学習常規」を各学級に掲示し、学習に集中できる環境づくりを進めている。

4 校内研修の充実

- ・重点教育目標の達成に向けて、授業公開を中心とした研究を進めるとともに、全教職員が共通認識に立ち指導案を作成し授業を実践している。



5 「ふかぼり教育の日」地域公開の開催

- ・「学び合い」をテーマに全学級が授業公開を行い、これまでの取り組みを地域に発信することを通して、本校としての教育活動の充実を図る機会とした。

3 成果（○）と課題（●）

- 今年度、重点教育目標を「学び合う子」とし、教職員の共通理解のもと学校組織として様々な取り組みを進める中で、子どもたちの基礎・基本の定着、思考力・判断力・表現力の高まりを感じることができた。
- 思考力・判断力・表現力の評価を中心とした学習評価の在り方について、一層の工夫・改善を図る必要がある。